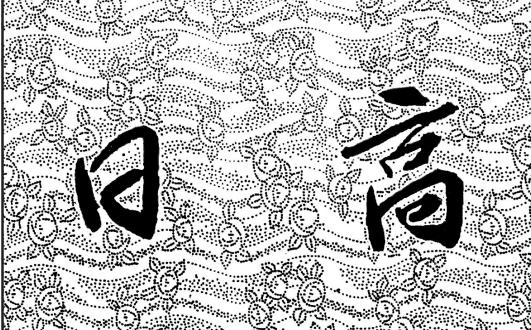


日高地区概況

令和7年10月1日現在
世帯数 9,200
人口 20,462
男 9,958
女 10,504

※この概要は日高支所管内の統計による



第227号

発行日 令和7年11月1日
発行日高学区市民自治会
<https://hitaka.hitachi-community.jp>
代表者 志賀 勝 弘
編集責任者 田所 剛
印 刷 CRAFT おぎつ



シルバーリハビリ体操で身も心もほぐれました

9月15日敬老の日に日高交流センター体育館において「ひたか敬老の集い」が開催され、80歳以上の100名の高齢の方が集いました。この催しは、昨年より日高学区独自に企画・運営をしているものです。日立市では「日立市敬老長寿お祝い事業」として、80歳、85歳と90歳以上の方にお祝いの品をお贈りすることになりますが、市民自治会

では、地域ぐるみで先輩方を敬いお祝いするべきだろうということで昨年度から始まりました。

今年の集いも、前日までの準備、当日の運営に地域の多くの団体、そして「このいえ認定こども園」なども高小学校の協力を得て行うことができました。

当日は、好天に恵まれ徒步や家族の送迎で参加者が会場に集まつてきました。

来賓の方からのお祝いの言葉、そして二名の小学生の感謝の言葉を綴った作文の朗読、休憩をはさんで演芸の部に進みました。



子どもたちと笑顔で会話



元気な子どもたちに目を細めて

一回目の日高敬老の 集いを振り返って

後日、実行委員会が開かれ、おもてなしや運営について話し合いがもたれました。「概ねよかつた」という意見が多かったが、いくつかの課題も出ました。なかで、特に大きな課題として挙げられたのは、学区内には1000名を越す80歳以上の高齢者がいるに

その原因として考えられるのは、遠くて会場まで歩いていけない、誰かに送迎を頼むにも遠慮から頼めないのではないか、という話になりました。今すぐとはいかないが、何らか対策を講じなければならないのではないか、と実行委員会として考えていました。

もかかわらず、
参加者が100
名だったことで
す。
その原因とし

広報日高 発行日の 変更について

前号（第226号）の広報日高において、発行日を奇数月の1日発行にする旨ご連絡いたしましたが、自治会の主な行事と広報紙の発行日までの期間を空けずになるべく迅速に記事をお届けするという観点で見直しを行つた結果、偶数月の1日発行へ再度変更を行うこととします。

つきましては次号は年明けの2月1日発行となりますのでご了承ください。

- きも伸び伸びしていました。最後は、埼玉県美里町の木部おじさんの太鼓と美里彩の獅子の舞で大いに盛り上がりました。そのあと、三体の獅子が会場の参加者の間を回り、全員が頭を轟くでもらいました。「楽しめたたです」などの感想が多く聞かれました。今年もお土産と写真が贈られまし

- 交流センター大掃除
12月13日（土）

○ 日高交流センター
日わら細工教室
12月21日（日）

○ 日高文化交流センター
日高文化交流センター
○ 三世代文化祭
11月1日（土）～3（月）

日高文化交流センター
状況により行事が中止になる場合があります。

行事予定

新たな再生資源集積所の

運用始まる

変更された再生資源集積状況

日高学区高連 合同懇親会実施



皆さん表情がいいねー
懇親会を終えて

日高学区の2つの高齢者クラブ（日高新生G.G.C.・NEW自然山ふれあいの会）の高齢者クラブ連合会（以下高連）の合同懇親会を10月1日常陸太田市の横川温泉中野屋旅館で会員24名の参加により実施しました。中野屋旅館の送迎バスに揺られ和気あいあいの中、旅館に到着しました。

当初、旅館の特設会場でグラウンドゴルフを実施し、その後、懇親会を実施する予定でしたが、あいにくの雨のためグラウンドゴルフは中止となってしまいました。予定を変更し、館内で自己紹介の後、舟生さんの指導による振り込み詐欺防止の替え歌、簡単なカーデ手品などで盛り上がり、その後、ビンゴゲームを行いました。

懇親会では、特に、カラオケを楽しみました。長年鍛えた喉は相当なもので皆さん歌の上手な方たちばかりでした。

宴もたけなわの中、閉会となり帰路につきました。

高連には高齢者間の交流を通した仲間づくりや健康増進の効果が期待できます。高齢者の皆さんとの入会をお待ちしております。

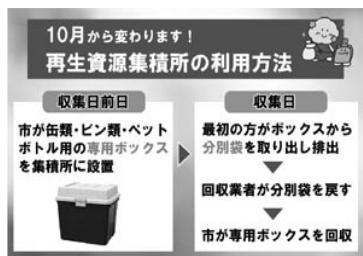
区が最初に開始された。地域の集積所では前日に配置された資源回収用用具ボックスからそれぞれに利用者が専用の袋を取り出し分類して排出していた。学区内全体を見回つても、地域のマナーの良さの表れなのか、雨天が影響したか、不適正排出物はほぼ見られなかつた。集積所によつては、いつも出してある場所の排出状態が心配で整理したり、見守つたりし

健康体操で 日常を前向きに

体操と言つてもラジオ体操やストレッチではなく、音楽に合わせて軽やかにステップを踏んで、腕も併せて動かす。30名を超えるメンバーで80代後半の方も元気にステップ＆ストレッチに汗を流します。

「日高学区の女性たちは他の地区よりも本当に元気でパワフル。続ける事が本当に大事」と話す講師の増子千代美先生。

リズミカルな音楽に軽快な足音と掛け声。毎週水曜日の午後は、お揃いのピンクのユニフォームを着た白髪もオシャレな日立健康教室の女性たちで、交流センター体育館が華やかになります。



ている人もいるところも目られた。業者の回収が終った後に地域の方が集積所の清掃をしている場所もあら、日高住民の心意気が感じられる場面にも遭遇した。

日高で体験しよう—
これからのイベント

日高学区では、一年を通じて様々なイベントが交流センターを中心に行われています。年末年始の行事を紹介します。

三世代文化祭

11月1日～3日まで開催されています。日高学区の人々が作成した作品の展示や演奏などが行われます。地域の文化活動の発表の場です。

門松つくりとわら細工

経験したことのない人も、手作りでしめ縄飾りを作る

の体力は平均年齢は上がりつ
ていますが、体力・筋力は
維持、向上中。70代でも80
代でも向上します。あきら
めないで頑張ることが大事
ですね。

新 春 初 顔 合 わせ

日高の年初めの賀詞交歓会です。12月より参加者を募ります。

日高鳥追い祭り

どんど焼き、餅つきや昔遊びなど、日本の伝統行事を体験できるイベントです。地域の皆さんへの参加をお待ちしています。交流センターだよりも案内します。1面行事予定をご確認ください。

小さな輪 大きな輪 おぎつ山森の会

森の会の活動メンバーは現在7名、毎月第4土曜日の午前中、小木津山自然公園内の植生等の観察と調査、加えて繁殖期・越冬期の野鳥やカエルの調査などを年間20日ほど行っています。

調査結果は年2回、日本自然保護協会に報告され、全国のデータとともに生物多様性保全施策のほか環境教育や学術研究の基礎データとして活用されています。

8月の観察会に同行させていただき、メンバーの皆さんの植物や鳥類に対する情熱と知識、そして通常では見過ごしてしまう草花や木の実などわが子を慈しむように愛でる姿に、観察、調査の範疇を超えた愛情を感じました。

当初は小木津山自然公園の里親として活動を始めたのですが、現在は会員の高齢化もあり、これらの調査とカタクリ等の希少植物の保全調査と整備作業等をしています。

生き物たちの姿をしっかりと見つめ、多くの生き物たちが生き生きと暮らせる自然豊かな公園になるよう、毎回楽しく活動しているようです。

毎月の観察や調査は経験や知識が無くても随時参加を受け入れているそうで、興味がある方は交流センターまでお問い合わせください。（田所 國）

各地区のおげんきクラブ

秋の旅行を楽しむ

日高学区市民自治会社会福祉委員会では、65歳以上の高齢者を対象に学区内7か所の集会所で、介護予防やふれあいを目的とした近



笠間稻荷神社拝殿前にて

所の集いの場、ふれあいサロン事業（おげんきクラブ）を実施しています。

近くの集会所で体操や音楽やゲーム、おしゃべりなどを楽しみながら楽しい時間を過ごしています。年に1度の日立市福祉バスを利用した日帰り旅行もお楽しみの一つです。

地域限定振興券を使用しましたか？

日高学区にお住まい、年度内に80歳、85歳、90歳及び91歳以上となる方を対象に、日立市敬老長寿お祝い事業により3000円相当の「地域限定振興券」が贈られました。

「地域限定振興券」は、令和7年11月30日までの利用期限がありますので、お早めにご利用ください。

なお、利用できる協賛店は次の10店舗です。

- ◆ 神峰スポーツ
- ◆ お茶と海苔の大宮園
- ◆ 玉喜屋支店
- ◆ 日立和洋菓子いちかわ
- ◆ ヘアスタイルリスト
- ◆ サロンエルム
- ◆ ウエルシア薬局
- ◆ フラワーhaus
- ◆ あおい化粧品
- ◆ エイムスタジオ
- ◆ ワタナベ本店
- ◆ 日立小木津店
- ◆ たかのそ海岸歯科

日立北店



西町に咲くヒガンバナ

西町に咲くヒガンバナ

お彼岸明けの9月下旬、西町地区を歩いて田園風景を眺めました。川沿いの道端に、田んぼの土手やあぜに、そして空地にと真赤なヒガンバナの最盛期です。昨年までは、東連津川の中山橋付近から常磐線との間に、田んぼの土手やあぜに見事なヒガンバナが群生していましたが、今年は整地せん。ヒガンバナが田のあぜや

旬の花巡り ヒガンバナ

アさんを含む18名の参加者は、笠間稻荷神社の散策と手打ちそばの昼食で初秋の景色と味覚を楽しみ、全員おみやげ片手に無事帰宅しました。

松ヶ丘ふれあいサロンは、足先に笠間方面へ出かけてきました。ボランティア

アさんを含む18名の参加者は、笠間稻荷神社の散策と手打ちそばの昼食で初秋の景色と味覚を楽しみ、全員おみやげ片手に無事帰宅しました。

松ヶ丘ふれあいサロンは、野ネズミやモグラが穴を開けるのを、毒性のある球根が防ぐのだろうと言われています。ヒガンバナはマンジュシヤゲとも呼ばれています。法華經の「摩訶曼陀羅華曼珠沙華」から出たといわれ「天上の花」「赤い花」の意味だそうです。訪れる人も少ない墓地の中に、燃えるように咲いていて、地下に眠る仏たちに捧げ、彼岸を知らせているかのようです。

近隣では、常陸太田市の源氏川沿いの川提約1kmに渡つて、地域の方々が美しいヒガンバナを育てており、多くの人々でにぎわいます。

投稿記事募集

広報日高では、読者の皆さんからの投稿を紹介するコーナー「みんなの広場」を開設しました。このコーナーでは地域の想、そしてご自身で作られた俳句、短歌、川柳、写真、イラストなどを取り上げたいと考えています。

もし、投稿されたい題材がありましたら、300字程度にまとめ以下の方で広報部宛てにお寄せください。

・投稿箱（交流センター入口に設置します）への投入

・自治会HPへのメール送信

・お問い合わせください。

「みんなの広場」 おぎつ山だより

2023年9月の大雨以降閉鎖されていた駐車場が今年4月から使用できるようになります。一部を除いて開園しています。松枯れ・ナラ枯れに侵されながらもなんとか暑い夏を乗り越え迎えた紅葉の秋。錦の葉を実する季節です。可愛い木の花や可憐な可愛い花も咲いています。北の国からはルリビタキやジョウビタキなど冬鳥のお客さんがやって来て賑やかになりますよ。のんびり秋を楽しみましょう！（おぎつ山森の会 益子芳江さん）

ていただきます。
また、掲載可否について
は、広報部内での編集会議

で決定させていただきます。
詳しいについては広報部までお問い合わせください。

短歌会員のお誘い
大塚洋子先生のご指導のもと毎月第二土曜日の午後一時からです。楽しいひと時をご一緒にせんかどなたでもお待ちしております。

連絡先 代表 尾羽千恵（四一六二七二）
村尾 君代

猛暑日は濃い紫の日本地図
北海道から九州までが
短冊に世界平和の文字おどる画像の奥に届けとばかり

田村 弘
小池 久枝
久保田絹枝
川井けい子
尾羽 千恵

大雨に打たれるように転倒す自転車の夫の魔の午後三時
夏風邪かはたまた疲れか気怠さに夜の灯りを早々と消す

田村 弘
小池 久枝
久保田絹枝
川井けい子
尾羽 千恵

四十回おんもさ祭りのライブ聴く安達勇人のリズムの熱き

暑い夏に民の力の風吹きて選挙の後の方向決まり
尾羽 千恵

玉音を伏して涙の母の背にただ泣きじやくりしと嬰兒のわれ

太田 初枝
小野 勝子
小野 白梅

百合の花の品種改良の次々とバラのごとしも香りは百合に

石井 正子
曉子

文芸ひたか

日高短歌会



地域環境を大切に

東連津川清掃活動

取材に訪れたその日は
何人かの先生方と一緒に昇
降口で下校指導をされてい
たフットワークの軽い中嶋
由佳校長先生がいました。
先生は、日高小は母校で
小学生の頃、大障害やシーサー
等の遊具で遊んだ思い出
を語ってくれました。
現在は川尻町にお住まい

算数・数学の学習が好きだつたことと、学生時代に汗を流した軟式テニスの部活動を担当したかったことが教職の道に進んだきっかけだそうです。

県西の総和北中学校での新採からスタートし、水戸市や日立市の小・中学校に勤務、さらには教育事務所の指導主事を歴任し、現在

と教えてくれました。
温かい保護者、それに日
高学区市民自治会を中心と
した地域の団結力、チーム
力にも感銘されていました。
趣味を尋ねますと、健康
管理を兼ねて「ヨガとモル
ック」に興じているそうです。
開放的・フレンドリー・
包容力を感じ取れた校長先
生でした。（豊田賢一）

同じ月待信仰に二十三夜信仰がありました。本来は旧暦二十三日の夜、当番の家に集まり飲食歓談をして真夜中の一時頃に出る下弦の月を待つて、子どものことや家のことをお月様に祈願をするものでした。このよくな講は、町内単位や信仰を同じくする人たちが輪番制で、当番宿に集まつて特

アム水戸において第33回全日本古希軟式野球大会が開催され、全国から44のチームが出場して熱戦が繰り広げられました。

「日立球友クラブ」はトーナメント戦の6試合を勝ち抜き、全員70歳以上の古希チームでは初めて優勝旗を手にしました。

日高小学校長
なかぐきゅか
中嶋由佳さん
(54歳)



9月21日は今年度3回目の東連津川清掃が実施されました。いつもより参加者が少ないながら、今回は市の職員のコミュニケーション活動研修者3名を迎えて総勢49名が参加しました。



汗を流して草を除去

いえ、まだ強い日差しで暑さが残っている中、熱中症対策として適切に水分の補給や休憩をはさみ、草刈りやゴミの収集作業に汗を流しました。伸びてしまつた蔓性草が草刈り機の歯に絡みつくななど大変な作業もありました。

野仏の種類

野仏には、石仏や文字塔がありますが、石で造られた仏像を「石仏」、五輪塔や民間信仰の文字塔などを「石塔」と呼称しています。

た馬の安全祈願として立てられてきましたが、本来は人々の苦しむ心（煩惱）を救つたり、悪を打ち破る菩薩とされてきました。

馬力神は明治時代になつてから馬頭観音に代わつて文字塔として建てられてき

明し線香をあげ、五穀豊穣、
家内安全、安産子安子育て等々を祈願する場とともに、
飲食歎談しながら親睦を深める場でもありました。

ふるさと
(31)

日高地区の野仏

日高地区の野仏

このような石仏や信仰の塔が『日立の野仏』第二集北部地区（1986年）の「小木津町」（現在の日高学区に相田町を含めた地域）の項目に、合わせて101基が記載されています。

昨年還暦を迎えた「第二の人生何かしたい」と意気込んでいたものの気が

第二の人生スタート

青少年育成部
永山路了

かと説いており、待つて
いましたとばかりに即快
諾。自治会に所属させて
頂くことになりました。
おんもき祭りなどの行
事や打合せに参加する
中で地域の方々と関わる
楽しさと嬉しさを実感し
ています。

これから的人生、お金
と時間そして家族の理解
が許す限り興味あること
に積極的に挑戦していき
たいと思っています。

日立球友クラブ全国初々に
地元の人も活躍

賀良平さんと、小木津浜の小松徳男さんがチームのメンバーに加わっています。志賀さんにお話をお聞きすると、「昨年の新潟県での大会で準優勝した際、小川市長に、「次は優勝を目指したい」と宣言したことが実現できてうれしい。今度は皆から追われる立場になりますので、ますます練習に励みたいと仲間で話している」とのことでした。

今号では、「ひたか敬老の集い」が開催された様子を記事にした。日高には多くの高齢者が住んでおり、これからも健康に長生きしてもらいたいものだ。

10月からは再生資源の回収方法が変更となつた。事前の説明会や広報紙などが効果を出して切り替えがうまくゆくことを願う。

尚、自治会独自の回収はこれまで通り実施。(山口哲司)